

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第十中学校 校長 田村 和夫

1 学校教育目標

自他の生命を尊ぶ人間尊重の精神を基調とし、変化の激しい社会の中で生徒一人一人が主体的・自主的に学べるような資質や能力を定着させる。また、人間関係が希薄になりつつある社会の中で、助け合い、思いやる共存共生の社会を構築する心豊かな人間を育成する。そのために教職員と生徒の教育目標として、次の3点を掲げる。

- ・学び合う人
- ・思いやる人
- ・鍛え合う人

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14634 冊（蔵書基準冊数 12160 冊）／蔵書率 120%									
	② 新規購入図書 624 冊／廃棄図書 166 冊／増減冊数 458 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3%	3%	11%	12%	12%	5%	3%	10%	6%	35%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：毎日放課後 17 時 30 分まで（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 11.9 冊（前年度末：12.1 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1036%（前年度末：1062%）									

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 14672 冊（蔵書基準冊数 11680 冊）／蔵書率 130 %									
	② 新規購入図書 642 冊／廃棄図書 604 冊／増減冊数 38 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3%	4%	10%	12%	12%	5%	3%	11%	6%	34%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：昼休み・放課後 17 時 30 分まで（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 12,2 冊（前年度末：11,9 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1184 %（前年度末：1036 %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。
------	--

今年度の成果目標	達成基準
<ol style="list-style-type: none"> ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上 ③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%

目標達成状況	
① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数は目標値をわずかに達成できなかったものの、学校図書館の開放時間を増やしたことで読書時間を増やす機会をつくることができた。 ② 国語科の授業において調べる学習コンクール参加率は90%以上に達し、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができた。 ③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率は100%に達し、学校図書館のきまりや仕組みを知ることができた。	

第2学年	① いろいろな読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 課題によって学校図書やICT機器を使い分けて探究活動を進め、情報活用能力の育成を図る。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 授業や放課後の時間等に、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進めることができる。	① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%

目標達成状況	
① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数は前年度比10%増を達成し、主体的に学校図書館を活用することができた。 ② 学年行事における総合的な学習の時間において事前・事後学習の探究活動を通して本や資料の活用等できたが、目標値はわずかに達成できなかった。	

第3学年	① 読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 読書や探究活動の授業を年8回程度実施するクラスの割合100%

目標達成状況	
① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数は目標値をわずかに達成できなかったものの、学校図書館の開放時間を増やしたことで読書時間を増やす機会をつくることができた。 ② 学年行事における総合的な学習の時間において事前・事後学習の探究活動を通して本や資料の活用等を行うことができた。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・蔵書構成のバランスを考慮し、新規購入を勧める。 ・「三桁分類」への変更作業完了を目指す。	・蔵書構成のバランスを考慮し、学校図書館支援員と連携しながら新規購入および選書を行った。 ・「三桁分類」への変更作業を完了した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・学校図書館オリエンテーションの実施や授業に必要な資料の貸し出し等、積極的に連携に取り組む。	第1学年において、学校図書館オリエンテーションを実施し、各学年の校外学習をはじめ必要資料の貸し出し等を積極的に行うことができた。
【その他】 ・朝と放課後の時間に、全校で読書活動の時間を設ける。 ・年3回の読書週間を設定する。 ・昼休みの時間を確保し、図書館を解放する。 ・年度末の貸出返却率が100%になるように取り組む。	・年3回読書週間を実施し、読書に親しむ時間設定を行った。 ・昼休みに学校図書館を開放した。 ・図書館支援員や図書委員からの呼びかけによって年度末の貸し出し返却率は高まった。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

学校図書館支援員との連携・協働がスムーズに行うことができ、生徒の読書への意欲を高める図書館環境をつくることができた。

令和6年度は各教科における授業で学校図書館を活用し、より生徒が読書に親しむことができるように努める。具体的には令和5年度に開始した年3回の読書週間の設定や、生徒会活動などを通して学校図書館の利用を促進する働きかけを行う。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・引き続き学校図書館の環境整備に尽力し、生徒たちが落ち着いて読書に親しむことのできる空間を作ってほしい。
- ・1学級が学校図書館内で授業を受けられる環境をつくり、各教科の授業において本を活用した取り組みを行ってほしい。